

令和2年度 第3回磐田市廃棄物減量化等推進審議会 会議録

【日時】 令和3年3月17日（水）午前10時～午前11時30分

【会場】 磐田市クリーンセンター 2階研修室

【出席者】 会長 藤田 允
副会長 伊藤 よし子
委員 玉田 文江 今泉 佳代
 宮地 浩 山本 壮志
 伊藤 慎弥 渡邊 カルロス
 寺田 辰蔵 鎌田 俊己
 鈴木 哲一 武藤 美恵
 順不同（12名出席）

（欠席：寺田ヒサ子）

【事務局】 環境水道部長、ごみ対策課長、ごみ対策課長補佐、
ごみ対策課主幹、審議会担当職員3名

【会議概要】

- 1 開会
- 2 会長挨拶
- 3 議事
 - （1）令和2年度主な取り組みについて
 - （2）令和3年度主な取り組み（案）について
 - （3）令和3年度磐田市一般廃棄物処理実施計画（案）について
 - （4）その他報告事項
- 4 閉会

【意見・質疑の主な内容】

1 開会

〈事務局〉 皆様、こんにちは。磐田市ごみ対策課長の仲村でございます。本日は、お忙しいなか、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。また、日ごろは当市のごみ減量施策の推進に、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

ただいまより、令和2年度第3回磐田市廃棄物減量化等推進審議会を開催させていただきます。

まず、磐田市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例施行規則第2項によりまして、委員の半数以上が出席しておりますので、本会議が有効に成立していることを、ここでご報告申し上げます。欠席は寺田ヒサ子委員です。審議会の進行については、磐田市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例施行規則第25条第1項により、会長が議長となりますので、藤田会長から一言ごあいさつをいただき、引き続き議事進行をよろしく願いいたします。

2 会長挨拶

〈会長〉 おはようございます。本日もよろしく申し上げます。

3 議事

- (1) 令和2年度主な取り組みについて
- (2) 令和3年度主な取り組み（案）について
- (3) 令和3年度磐田市一般廃棄物処理実施計画（案）について

《（1）～（3）を事務局より一括して説明》

〈会長〉 ただいま事務局から説明がありました。質問、意見、提案をよろしく願いいたします。

〈委員〉 子育て支援で若いお母さんやお子さんと接することが多いので雑がみ530スタンプラリーを広めていきたいと思います。

〈事務局〉 ありがとうございます。

〈委員〉 3つほど質問させてください。1点目は、生ごみ堆肥化容器の補助額はいくらか。2点目はレジ袋が削減されていると思います

が具体的な数値はあるのか。3点目は焼却灰の半分を資源化との説明がありましたが、採算はとれるのか。以上です。

<事務局> 生ごみ堆肥化容器の補助額は2分の1以内で上限3,000円です。レジ袋の削減については、昨年9月に市内の協定店に調査を行ったところ、約95%が辞退しており、過去10年で今回が最高の数値でした。焼却灰の埋立については、これだけでは会社は採算性はありませんので、市が処理料を支払って委託しています。市としては、トータルコストを考え、資源化の方が有利だということで取り組んでいます。

<委員> 新聞に、中遠広域の最終処分場が4年間の延長との記事がありました。20年間埋めていて、令和2年度末の埋立率が53%、この先4年埋めたとしても、埋立容量は60%程度と推測されます。40%を残した状態ではもったいない、個人的には100%になるまで延長した方がいいような気がします。長期的なスパンで考えていく必要がある中で、最終処分場がなくなったら他の地域にお願いするという考えはやめた方がいいということ、一市民の意見として、聞きおいていただけたらと思います。それから、焼却灰を資源化するため業者へ委託することですが、資源化された再生資材、建設資材としての利用について、これは、例えば委託市町村に買い取ってくれという話ではないですね。静岡県の場合、ごみから作った再生品というのは、不要になった時に、またごみという扱いを受け、非常に利用が狭められているので、委託した先での製品が買い取りという形だと、県内での使用は厳しいなと思いましたので質問させていただきます。

<事務局> 買い取ってくれという話ではありません。

<委員> ごみの処理にいくらの費用がかかっているかを、何かしらの形で公表していただければありがたいです。

<事務局> 分かりました。

<委員> 市民課の外国人窓口で、ごみ対策課から提供された外国人向けごみの出し方動画を紹介しており、手続きされた方から高い評価

をいただいております。ありがとうございます。一方で、自治会の方から、外国人がなかなかごみの分別のルールを理解してくれないという意見もあります。これから地域づくり応援課と協力して、例えば、出張オリエンテーションを出来ればいいなと考えていますので、ご協力をお願いします。また、データを頂けるなら、その動画をSNSで投稿したいと思います。現在、約2,000人のフォロワーがいますので、多くの外国人の人たちに見ていただけたらと思います。その動画以外にも、クリーンセンターで行われていることも紹介したいと思っています。

<事務局> ありがとうございます。協力させていただきます。

<委員> 3月30日から、金属製品、ガラス、陶器等の回収が始まりますが、回収したものは、お金を払って業者に取りに来てもらうのですか。もう1点、雑がみ530スタンプラリーは非常に良い企画ですので、周りにもPRしたいと思います。トイレトペーパーは現在どれぐらい残っていますか。

<事務局> 金属ごみについては、買い取りをしていただきます。ガラスと陶器については、お金を負担してリサイクルをしていただきます。羽毛布団については、買い取りをしていただきます。トイレトペーパーは先着530個ですが、まだ十分に残りが残りますので、是非PRをお願いします。

<委員> 小売店をやっているのですが、お客様から、ペンキや農薬を引き取ってほしいという問い合わせがあります。お客様自身が市に問い合わせをしたところ、「市では処理できないので、購入した小売店で相談してください。」というような回答で、こちらに問い合わせがくるのですが、例えば、ごみ分別ガイドブックに回収できる業者を掲載していただければ、手間が1つ減りますので、検討していただければと思います。

<事務局> 参考にして検討します。

<委員> 民間の古紙回収ステーションが市内にありますが、コンテナを置いた業者しか回収しないのですか、それともコンテナを置いた

以外の別の業者が回収することもありますか。

<委員> 民間の古紙回収ステーションは、民間の土地で民間の事業者が対応していますが、別の業者が回収することもあります。

<委員> 移設したリサイクルステーションが、駐車場に置いてある台車が空いていなかったら手で運ばなければいけない、混雑時は待たなければいけない等、使い勝手が悪いということを聞き、私も1回だけ利用しましたが、そう思ったので、改善した方がいいと思います。

<事務局> 引き続き、改善していきます。

<委員> クリーンセンターの施設見学会を小学校4年生を対象にやっていますが、今年、うちの子が4年生で、コロナ禍で施設見学ができなくて大変残念に思います。ごみの分別の説明会は小中学生を対象ということですが、小さければ小さいほど、割と遊び感覚で学んできて、家でも楽しくやってくれるというのがあると思うので、出来るだけ小さいうちから少しずつ学ばせて、自然に身につけていく方がいいと思います。

<事務局> ありがとうございます。今年、コロナ禍でクリーンセンターの施設見学が中止になってしまいましたが、来年度はできる範囲で行いたいと考えています。そういう意味で、雑がみ530スタンプラリーは親子で雑がみを持ってきてくれていますので、手ごたえを感じています。

<委員> 新年度の取り組みの雑がみ530スタンプラリーはインパクトがあり、とても良いと思います。もっと大人にもどんどんPRすればよいと思います。あと、毎日ごみの処理をして気が付いたこととして、可燃ごみが増えている一因は、プラスチックだと思います。もう少し、リサイクルできるものはリサイクルということを強調していただきたいです。

<事務局> 引き続き、啓発をしていきます。

<委員> 家庭ごみを減らすために、ごみ減量のポスターを地域のごみ集積所に掲示して、市民の皆様実践していただくというのはどうですか。

<事務局> 磐田市では、地域の集積所は、地域で管理をしていただいております。実状に応じて地域ごとに看板をつけているという状況ですが、今後、ごみ減量についても紹介できるような掲示物を市のほうでも検討していきたいと思っております。

<委員> 高齢者等がリサイクルステーションへ持ち込むのは、少し大変だと思いますので、月1回のプラスチックやペットボトル、空き缶の回収日に、雑紙などを一緒に回収するのは無理ですか。

<事務局> 資源回収や民間の回収コンテナが増えたことで、平成25年度に古紙の定期収集を終了した経緯があります。収集業者が回収することは、委託料が高額になりますので、再度回収をすることは難しいと考えています。高齢の方で遠くまで出せないという方には地域の資源回収などをご利用いただきたいと思っております。

<委員> 雑がみ530スタンプラリーは参加者の対象が小学生以下となっていますが、これをもっと広めて、市民全体を巻き込んだイベントにすればいいと思います。案としては、ごみゼロの日に参加した人の中から、何か景品が当たりますとか、そういう案の検討もよろしくをお願いします。

<事務局> ありがとうございます。今回、リサイクルステーション移設一周年記念ということで、子どもさんを中心にやってみて、その結果を踏まえて、次の案を考えたいと思っております。

<会長> 雑紙が回収できれば、可燃ごみがかなり減ると思いますし、リサイクルにもなり、地球の環境に非常にいいものですから、これから大きな活動になっていけば、かなり大きな力になると思っております。皆さん、活発なご発言をありがとうございました。

(4) その他報告事項

《（４）を事務局より説明》

〈会長〉 本日の議案審議は全て、これで終了しました。

〈事務局〉 以上を持ちまして、令和２年度第３回審議会を終了いたします。
本日はありがとうございました。

４ 閉会